

6. 履修手続

(1) 履修登録について

学部から示される履修課程表及び時間割、シラバス等に基づいて、定められた期日までに履修しようとする授業科目を大学内のパソコンから履修登録をしなければならない。

履修の手続きについては、その都度掲示するので、掲示板に注意すること。

(2) 教育学部専門教育科目の履修

教育学部専門教育科目（教職免許科目）の履修については、その都度掲示するので、指定された期日までに手続きすること。

(3) 集中講義

集中講義の履修については、その都度掲示するので、指定された期日までに手続きすること。

7. 大学院への進学

農学部及び環境理工学部を基礎学部とする大学院として、岡山大学大学院環境生命科学研究科が設置されています。この大学院の専攻及び講座の内容については、それぞれの年度に発表される入学案内によること。

8. 諸資格および教育職員免許状の取得

(1) 危険物取扱者試験甲種受験資格：危険物取扱者には甲種、乙種、丙種があり、その中で甲種は消防法に定められている全ての危険物の取扱いが可能な資格である。化学関連の授業科目を15単位以上修得した場合に受験資格がある。試験は各都道府県で実施されている。岡山県の問い合わせ先は消防試験研究センター岡山県支部（086-227-1530）である。詳細については教務学生担当に問い合わせること。

(2) 食品衛生管理者・食品衛生監視員：この資格を取得するためには、「農学部履修細則」（10～11ページ）及び「食品衛生資格取得コース履修科目表」（27ページ）をよく承知しておくこと。

① 食品衛生管理者とは、当該の食品又は添加物の製造及び加工を衛生的に管理するための専門資格であり、当該の施設ごとに配置することが義務づけられている。

この資格は、卒業後に衛生管理を必要とする施設等に就職してから、当該の都道府県に申請することにより取得できる。

② 食品衛生監視員とは、国、都道府県及び保健所を設置する市で、食品衛生に関する監視、指導等に従事する職員（国家及び地方公務員）のことである。詳細については国又は都道府県等の募集要項を参照されたい。

食品衛生資格取得コース履修科目表

- 科目区分は以下のとおり
 A群：化学関係科目 B群：生物化学関係科目
 C群：微生物学関係科目 D群：公衆衛生学関係科目
 E群：その他関連科目
- 食品衛生資格取得コース科目の履修にあたっては、
 A～E群の中からそれぞれ1科目以上を履修し、
 かつ「A～D群の科目群」で合計22単位以上、
 全体で40単位以上修得しなければならない。

区分	修得要件	
A群	・合計22単位以上修得	・それぞれの群から1科目以上履修 ・合計40単位以上修得
B群		
C群		
D群		
E群		

科目名	区分	単位数	科目名	区分	単位数	科目名	区分	単位数
分析化学1	A群	1	基礎微生物学1	C群	1	地域環境管理学	E群	1
分析化学2	A群	1	基礎微生物学2	C群	1	生物多様性保全学	E群	1
有機化学1-1	A群	1	応用微生物学1-1	C群	1	農産物利用学1	E群	1
有機化学1-2	A群	1	応用微生物学1-2	C群	1	農産物利用学2	E群	1
有機化学2-1	A群	1	応用微生物学2-1	C群	1	遺伝子工学1	E群	1
有機化学2-2	A群	1	応用微生物学2-2	C群	1	遺伝子工学2	E群	1
有機化学3-1	A群	1	応用微生物学3-1	C群	1	動物遺伝学1	E群	1
有機化学3-2	A群	1	応用微生物学3-2	C群	1	動物遺伝学2	E群	1
生物有機化学1	A群	1	動物応用微生物学1	C群	1	動物育種学1	E群	1
生物有機化学2	A群	1	動物応用微生物学2	C群	1	動物育種学2	E群	1
生理活性物質化学1	A群	1	環境微生物学1	C群	1	動物生殖生理学1	E群	1
生理活性物質化学2	A群	1	環境微生物学2	C群	1	動物生殖生理学2	E群	1
基礎分析化学実験	A群	2	公衆衛生学1	D群	1	動物栄養学1	E群	1
農芸化学コース実験1	A群	2	公衆衛生学2	D群	1	動物栄養学2	E群	1
農芸化学コース実験2	A群	2	食品衛生学	D群	1.5	農産食品工学	E群	1.5
農芸化学コース実験3	A群	2	農学概論1	E群	1	酵素化学1	E群	1
農生命化学1	B群	1	農学概論2	E群	1	酵素化学2	E群	1
農生命化学2	B群	1	農業生物学1	E群	1	植物細菌病学	E群	1
栄養生化学1	B群	1	農業生物学2	E群	1	植物免疫学	E群	1
栄養生化学2	B群	1	農業資源学1	E群	1	植物ウイルス学	E群	1
生物化学1-1	B群	1	農業資源学2	E群	1	動物生産管理学1	E群	1
生物化学1-2	B群	1	農芸化学コース概論1	E群	1	動物生産管理学2	E群	1
生物化学2-1	B群	1	農芸化学コース概論2	E群	1	食品栄養学1	E群	1
生物化学2-2	B群	1	応用植物科学コース概論1	E群	1	食品栄養学2	E群	1
生物化学3-1	B群	1	応用植物科学コース概論2	E群	1	資源管理学1	E群	1
生物化学3-2	B群	1	応用動物科学コース概論1	E群	1	資源管理学2	E群	1
畜産食品学1	B群	1	応用動物科学コース概論2	E群	1	食料情報学1	E群	1
畜産食品学2	B群	1	環境生態学コース概論1	E群	1	食料情報学2	E群	1
食品化学1	B群	1	環境生態学コース概論2	E群	1	家畜伝染病学(家畜疾病学)	E群	1.5
食品化学2	B群	1	基礎分子生物学1	E群	1			
食品生化学1	B群	1	基礎分子生物学2	E群	1			
食品生化学2	B群	1	植物遺伝学1	E群	1			
細胞生化学1	B群	1	植物遺伝学2	E群	1			
細胞生化学2	B群	1	植物生理学1	E群	1			
基礎生物学実験	B群	2	植物生理学2	E群	1			
応用植物科学コース実験1	B群	2	植物病理学1	E群	1			
応用植物科学コース実験2	B群	2	植物病理学2	E群	1			
応用植物科学コース実験3	B群	2	農産物生理学1	E群	1			
応用動物科学コース実験1-1	B群	1	農産物生理学2	E群	1			
応用動物科学コース実験1-2	B群	1	動物生理学1	E群	1			
応用動物科学コース実験2-1	B群	1	動物生理学2	E群	1			
応用動物科学コース実験2-2	B群	1	動物生理学3	E群	1			
応用動物科学コース実験3-1	B群	1	農業経営学1	E群	1			
応用動物科学コース実験3-2	B群	1	農業経営学2	E群	1			

- (3) 家畜人工授精師資格：この資格を取得するためには各都道府県が実施する講習会で所定の科目を修得する必要がある。農学部で開講されている科目のうち、家畜人工授精師資格（免除科目一覧表）に記載の科目についてはこの講習会の受講及び修業試験に関わる代替科目として認定されている。従ってこれらの科目を修得していれば本資格取得のための受講科目が一部免除される。詳細については教務学生担当に問い合わせること。

家畜人工授精師資格（免除科目一覧表）

授業科目名	単位	受講及び修業試験免除に係る講習会の科目		
		免除される科目	時間	区分
{ 応用動物科学コース概論1 } { 応用動物科学コース概論2 }	1 1	畜産概論	4	一般科目
{ 動物栄養学1 } { 動物栄養学2 }	1 1	家畜の栄養	3	
{ 動物生産管理学1 } { 動物生産管理学2 }	1 1	家畜の飼養管理	3	
{ 動物育種学1 } { 動物育種学2 }	1 1	家畜の育種	7	
{ 動物組織・形態学1 } { 動物組織・形態学2 }	1 1	生殖器解剖	5	専門科目
動物生殖生理学1 動物生殖生理学2 動物内分泌学1 動物内分泌学2 動物発生工学1	1 1 1 1 1	繁殖生理 精子生理 種付けの理論	13 7 4	
{ 動物発生工学1 } { 動物発生工学2 }	1 1	体内受精卵移植概論	8	
{ 動物細胞科学1 } { 動物細胞科学2 }	1 1	受精卵の生理及び形態	16	
動物発生工学2	1	体外受精卵移植概論	3	
牧場実習	2	家畜の飼養管理	4	
{ 応用動物科学コース実験1 } { 応用動物科学コース実験2 }	2 2	生殖器解剖	4	

※括弧書きが付された授業科目は、そのすべてを修得することで、該当科目が免除される。

- (4) 実験動物一級技術者受験資格：この資格は実験動物の生産や動物実験に関する知識・技術を持つ専門家を認定するもので、(公社)日本実験動物協会が行っている。農学部で開講されている科目のうち、実験動物一級技術者受験資格(科目名一覧表)に記載の科目を受講し、所定の単位を取得すると在学中(4年次)に受験資格を得ることができる。

問い合わせ先は(公社)日本実験動物協会(TEL:03-5215-2231, <http://www.nichidokyo.or.jp/index.html>)である。詳細については教務学生担当に問い合わせること。

実験動物一級技術者受験資格(科目名一覧表)

- (1) 学科 ※各項目で○印の科目を2単位以上修得すること

授業科目	内容	1. 総論											2. 各論		
		動物実験と社会	解剖と生理	遺伝と育種	繁殖	栄養と飼料	飼育と衛生	施設と環境	病気と感染	検査法	特殊実験法と凍結保存	遺伝子操作とモニタリング	命名規約およびモニタリング	マウス・ラット・ハムスター類、スナネズミ、モルモット、ウサギ	
実験動物科学1	1	○		○		○	○	○	○	○		○	○		
実験動物科学2	1	○		○		○	○	○	○	○		○	○		
動物遺伝学1	1			○							○				
動物遺伝学2	1			○							○				
動物生理学1	1		○							○					
動物生理学2	1		○							○					
動物細胞科学1	1		○												
動物細胞科学2	1		○												
動物組織・形態学1	1		○												
動物組織・形態学2	1		○												
動物生殖生理学1	1				○										
動物生殖生理学2	1				○										
動物内分泌学1	1				○										
動物内分泌学2	1				○										
動物栄養学1	1					○									
動物栄養学2	1					○									
動物生産管理学1	1					○									
動物生産管理学2	1					○									
公衆衛生学1	1						○								
公衆衛生学2	1						○								
動物生理学3	1								○	○					
家畜伝染病学(家畜疾病学)	1								○						
動物発生工学1	1										○				
動物発生工学2	1										○				

- (2) 実地(実験) ※全科目(8単位)必修

授業科目名	内容
基礎生物学実験	2
応用動物科学コース実験1-1	1
応用動物科学コース実験1-2	1
応用動物科学コース実験2-1	1
応用動物科学コース実験2-2	1
応用動物科学コース実験3-1	1
応用動物科学コース実験3-2	1

・動物実験の基本および実験手技
 ・各動物の実験手技
 ・特殊実験と検査法
 ・遺伝子操作と凍結保存
 ・命名規約およびモニタリング
 ・実験動物の取り扱い

9. 岡山大学生殖補助医療技術キャリア養成特別コース

1 受入人員

10人程度

2 コースの特色

体外受精など医療現場での即戦力となりえる諸技術を兼ね備えた生殖補助医療技術者を養成することを目的に、生殖補助医療技術に関する科目を体系的に学修できる教育課程として、農学部及び医学部保健学科に設置されたものである。

農学部及び医学部保健学科双方の開講する指定科目を合計20単位修得した学生には、卒業時に「コース修了証書」が授与される。

3 履修者

所定の手続により本コースの履修を申請して履修を許可された学生

4 コース修了の要件

科目区分	授業科目名	単位数	修了要件単位数	備考
必修科目	保健科学入門	1	1	医学部開講科目
	医療経済学	2	2	医学部開講科目
	感染免疫学	1	1	医学部開講科目
	動物生殖生理学1	1	1	農学部開講科目
	動物生殖生理学2	1	1	農学部開講科目
	動物発生工学1	1	1	農学部開講科目
	動物発生工学2	1	1	農学部開講科目
	生殖補助医療学	2	2	農学部開講科目
	生殖補助医療技術実習Ⅰ	2	2	農学部開講科目
	生殖補助医療技術実習Ⅱ	1	1	農学部開講科目
	生殖補助医療技術実習Ⅲ	2	2	農学部開講科目
選択必修科目	基礎遺伝子学	2	2	医学部開講科目
	基礎遺伝学1	1		農学部開講科目
	基礎遺伝学2	1		農学部開講科目
	基礎病態学	2	2	医学部開講科目
	動物内分泌学1	1		農学部開講科目
	動物内分泌学2	1		農学部開講科目
	感染看護学	1	1	医学部開講科目
	感染予防学	1		医学部開講科目
合計単位数			20	

上表の「修了要件単位数」の記載に従い、20単位を修得した学生についてコース修了者と認定する。

5 注意事項

本コースで修得した医学部開講科目の単位は、開講学部以外の学生が履修し単位を修得した場合に教養教育科目として取り扱う授業科目を除き、農学部の卒業要件単位数に算入されない。

農学部開講科目の単位は、農学部規程の定めるところによる。